

産業競争力強化対策特別委員会記録

|         |  |  |
|---------|--|--|
| 1 会議の日時 | 令和3年10月6日<br>開 会 午前 9 時 59 分<br>閉 会 午前 10 時 46 分 |  |
| 2 会議の場所 | 第1会議室  |  |
| 3 出席者   | 委<br>員   | 委員長 岩井 豊太郎 副委員長 平岩 正光<br>委員 伊藤 正博 渡辺 嘉山 小川 恒雄<br>松村 多美夫 田中 勝士 広瀬 修<br>恩田 佳幸 山内 房壽 安井 忠 |
|         | 執<br>行<br>部                                      | 別紙配席図のとおり  |
| 4 事務局職員 | 主 査 水谷 昭之<br>主 任 山辺 有紗                           |  |

| 5 会議に付した案件                   |       |
|------------------------------|-------|
| 件名                           | 審査の結果 |
| 1 産業競争力強化対策特別委員会中間報告に対する対応状況 |       |
| 2 その他                        |       |

## 6 議事録（要点筆記）

### ○岩井豊太郎委員長

ただいまから、産業競争力強化対策特別委員会を開会する。

本日の委員会は、本年3月に知事へ提言した産業競争力強化対策特別委員会中間報告に対する対応状況について、執行部の説明を聴取するため、開催したものである。今回のフォローアップを通して、必要な施策を令和4年度当初予算へ反映させるなど、より一層の県内産業の競争力強化を図られるようお願いする。委員の皆様におかれては、執行部の対応状況に関して、積極的にご意見をいただくようお願いする。

なお、本日の執行部の説明員の出席については、本年3月の中間報告の提言内容を担当する部局に限って、出席いただいているので、ご承知おき願う。

それでは、産業競争力強化対策特別委員会中間報告に対する対応状況について説明をお願いします。

質疑は説明終了後をお願いします。

（執行部挨拶 崎浦商工労働部長）

（執行部説明 山田商工労働部次長）

### ○岩井豊太郎委員長

ただいまの説明について、質疑はないか。

### ○小川恒雄委員

産業競争力強化対策に関連して、専門家に委託して実施している事業はあるか。

### ○崎浦商工労働部長

様々な分野のプロフェッショナル人材を雇用したい企業に人材を紹介し、財政支援を行う事業を実施している。特にデジタル人材は需要が多く取り合いになっているので、来年度に向けては、金額を増額して企業のニーズに応えていきたいと考えている。

### ○小川恒雄委員

県内には専門家が多くいるので、人材育成も重要だが、こうした専門家も活用し、技術、知識を産業競争力強化に繋げてほしい。

### ○伊藤正博委員

AI、IoT、ICTの導入を進めるにあたり、ソフトピアジャパンの役割は大変大きいと思うが、財団職員の中で、AI、IoTなどに関する各企業からの相談に対応できる人材は、どのような分野で、どれくらいいるのか。

### ○郷産業技術課長

公益財団法人ソフトピアジャパンには、事務局28名、そのうちプロパー職員が11名おり、各種事業や相談に対応している。相談には様々な専門性を必要とするため、職員では不足する知見については、モノづくり応援隊という専門人材を登録する仕組みを活用し、相談内容に応じて、財団職員と専門人材と一緒に企業訪問することで対応している。また、各種研修についても、カリキュラムに応じて外部講師を活用しており、様々な知見を補いながら、取り組んでいる。

### ○伊藤正博委員

どのような相談が多いか、具体的な相談内容を説明してほしい。

○郷産業技術課長

財団職員による企業ヒアリング・相談対応の実績は、今年の8月末までで15社、29回であり、昨年度はコロナで企業訪問が困難な状況ではあったが、20社、31回対応をしている。相談内容としては、導入した機器の有効な活用方法といった具体的な相談のほか、工場の生産性を上げる方法を知りたいなどといった相談もある。

○田中勝士委員

中小企業等スマートワーク促進補助金について、9月補正で倍以上の増額をしているが、それだけのニーズがあると理解してよいか。申請状況を含めて説明してほしい。

○郷産業技術課長

中小企業等スマートワーク促進補助金については、4月に募集をかけたところ106件の申請があり、当初予算分で22件を採択した。しかし、基準点に達しながら当初予算内で採択しきれなかった申請35件について、追加で採択させていただくための補正予算を、本議会に提出している。申請をいただいている中で、一番多いのは製造業であるが、それ以外にも建設業、宿泊業など、様々な事業者から申請をいただいている。今後もデジタル化を通じた業務の見直しに対するニーズは引き続きあると認識している。

○田中勝士委員

製造業からの申請が多いということだが、現在の業務をこの補助金でどのように改善したいという事例があるのか。

○郷産業技術課長

例えば、流れてくる製品の検査について現在は目視で実施しているが、検査者の体調などによる見落としの発生があるため、カメラを活用した画像処理技術により自動で製品検査をすることで精度を上げたいといった申請がある。また、生産管理をする仕組みと顧客へ配送する物流の仕組みを連動させることで、納期の短縮を図りたいといった提案もある。

○田中勝士委員

同様に、介護ロボット、ICTの導入支援の状況についても教えてほしい。

○深見高齢福祉課高齢者生きがいづくり推進監

介護ロボット・ICT導入を加算要件とする介護報酬の改定や、介護ロボット導入補助の対象事業所拡充によりニーズが拡大しており、今回補正予算を提出している。介護ロボットの補助対象としては、夜間の見守り支援機器、移乗支援などの機器があるが、実績が多いのは見守り支援機器である。見回り頻度が減ることにより、職員の負担軽減と入所者の睡眠環境改善の双方に効果があったとの声を聞いており、今後もニーズが多くあると考えられることから、引き続き支援を行っていきたい。

○田中勝士委員

障がい福祉分野におけるロボットとICT事業についても同様のニーズがあるのではないかとと思われるが、先ほどの介護ロボット、ICTの導入支援と比較すると予算規模に大きな差がある。障がい福祉分野の状況についても教えてほしい。

○一柳障害福祉課社会参加推進企画監

国の補助事業を活用して補助を実施しており、ICT事業の導入支援については、申請した10件のうちの3件について国から内示を受けており、オンライン面会等で使用するタブレット端末等を中心に補助を実施する予定である。ロボット事業についても3件の内示を受けており、国からの追加募集を受け、現在、県内事業者へ募集しているところであり、必要に応じ、補正予算等の対応を行う。

○広瀬修委員

インターンシップを受け入れてもなかなか地元への就業につながらないという話を聞く。現状をどう分析し、今後どう進めていくのか。

○堀学校支援課長

インターンシップの高校生を受け入れていただいている地元企業と学校とはつながりが深く、概ね2、3年に一度は就職者がある企業が多い。しかし、昨年度は、例えば県内の工業高校に寄せられる求人の倍率は10倍以上と、すべての企業の要望に応えきれない現状である。なお、地元企業への就職推進については、例えば「地域連携による活力ある高校づくり推進事業」の対象校19校において、令和3年3月のデータでは、就職者の79.4%が地元を中心とする県内企業に就職するなど、一定の成果が出てきている状況である。

○広瀬修委員

地元就職する学生が負け組だと思われる雰囲気があるのではないかと。地元を支えているという意識を付け、働くことに前向きに考えられるようにしてほしい。また、これは要望だが、県では、県内就職により返還免除される県独自の奨学金制度を実施していると思うが、その対象の県外大学生にも、県内企業の魅力を積極的に発信していくよう取り組んでほしい。

○岩井豊太郎委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって、産業競争力強化対策特別委員会中間報告に対する対応状況の説明聴取を終わる。今回の委員会では、本年3月の中間報告に対する対応状況を説明いただいたが、委員会における意見についても、必要な施策に反映していただくことで、委員会の成果が実を結ぶのではないかと考え、こうした取組みを始めたところである。本日の説明で県の対応状況については、各委員に理解いただけたのではないと思う。

以上で、本日の議題は終了したが、この際、何かご意見はないか。

また、執行部の方、何かないか。

(意見なし)

○岩井豊太郎委員長

ご意見もないようなので、これをもって、本日の委員会を閉会する。

産業競争力強化対策特別委員会配席図

令和3年10月6日

第1会議室

出入口

|         |                             |                           |                              |  |              |
|---------|-----------------------------|---------------------------|------------------------------|--|--------------|
| 傍聴席・記者席 | 杉山<br>技術検査課<br>建設業企画監       | 長瀬<br>技術検査課<br>建設技術企画監    | 一柳<br>障害福祉課<br>社会参加推進<br>企画監 |  |              |
|         | 後藤<br>農政課<br>スマート農業<br>推進室長 | 田上<br>航空宇宙産業<br>課長        | 古田<br>地域産業課長                 | 深見<br>高齢福祉課<br>高齢者生きがい<br>づくり推進監                             |              |
|         | 久野<br>商業・金融課長               | 郷<br>産業技術課長               | 河田<br>新産業・エネ<br>ルギー振興課長      | 渡辺<br>産業人材課長   | 広瀬<br>労働雇用課長 |
|         | 板垣<br>農村振興課長兼<br>鳥獣害対策室長    | 田中<br>森林整備課長              | 広瀬<br>技術検査課長                 | 長尾<br>公共建築課長   | 堀<br>学校支援課長  |
|         | 田口<br>農政課長                  | 森島<br>商工労働部次長<br>(産業人材担当) | 崎浦<br>商工労働部長                 | 山田<br>商工労働部次長<br>兼東京オリンピック・<br>パラリンピック県産品・<br>活用促進連絡協議会<br>監 | 桑田<br>商工政策課長 |

傍聴席・記者席

出入口

議会事務局

|    |    |
|----|----|
| 山委 | 内員 |
| 広委 | 瀬員 |
| 松委 | 村員 |
| 渡委 | 辺員 |

|            |           |
|------------|-----------|
| 平岩<br>副委員長 | 岩井<br>委員長 |
|------------|-----------|

|            |    |
|------------|----|
| 安委         | 井員 |
| 恩委         | 田員 |
| 田委         | 中員 |
| 小川(恒)<br>委 | 員  |
| 伊藤(正)<br>委 | 員  |

議会事務局